一般社団法人 GOLD 日本委員会

2026 年度 第 1 回通常理事会 議事録

令和 8 年 4 月 22 日 19 時 00 分より、当法人主たる事務所を拠点にした WEB 会議システムにより、第 1 回通常理事会を開催した。

議決権のある理事：17 名

一ノ瀬正和、植木純、木田厚瑞、木村弘、權寧博、佐藤晋、佐野裕子、茂松茂人、柴田陽光、杉浦久敏、長瀬隆英、西村正治、長谷川好規、平井豊博、福地義之助、三嶋理晃、室繁郎（五十音順）

出席理事：11 名（下線：欠席者）

出席監事：工藤翔二

事 務 局：大塚

1. 開会宣言

事務局より本日の理事会は定足数に達している旨の報告があり、定款の規定により代表理事 植木純が議長として選任された。議長は、本理事会は適法に成立したので開会する旨を宣言し、直ちに議事に入った。

2. 第 1 号議案　2025 年度事業報告承認の件

議長の指名により、事務局から配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷コメント

植木先生より、ライトアップの件で資料に 10 月のケアリハ学会の時のビッグスワンが抜けていたと指摘がった。

工藤先生：2025 年度も色々な活動を推進していただいて良かった。認知度が 34.6%と高くなってきていて、ここまで来るのに非常に時間がかかったと思うが、特に 2022 年から一気に上がってきて、20 代、30 代の認知度が非常に高かくなったというのは、やはり IT 世代の参加ということで認知度が高くなってきたのか？ 50 代、60 代が、それこそ COPD 予備軍だと思うが、あまり高くなっていない。ただ、未来は明るいと思って、この世代ごとの状況を見ていた。

植木先生：今の 20 代、30 代の人たちは、私たちよりも健康意識が強く、飲酒や健康的な生活も含めて、少し意識が違う世代だということだと思う。

3. 第 2 号議案　2025 年度収支計算書承認の件

議長の指名により、事務局から収支計算書について配布資料に基づき報告があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

4. 第 3 号議案　2026 年度事業計画書承認の件

議長の指名により、事務局から 2026 年度事業計画について配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷COPD サミットについて

テーマ案　COPD ガイドライン第 7 版改訂のポイント、ワクチン含む

〔演者候補〕

ガイドライン総論

杉浦久敏 先生（東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野 教授）

ワクチンについて

中山勝敏 先生（秋田大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座 教授）

▷学会共同企画について

テーマ案　COPD 診断と治療のためのガイドライン 2026 をめぐって

〔演者候補〕

ガイドライン 2026 改訂のポイント

杉浦久敏 先生（東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野 教授）

COPD の新しい治療の考え方

川山智隆 先生（久留米大学 医学部医学科 内科学講座 教授）

5. 第 4 号議案　2026 年度収支予算案承認の件

議長の指名により、事務局から 2026 年度収支予算案について配布資料に基づき説明があった。議長が報告について賛否を諮ったところ満場一致をもって承認された。

▷コメント

植木先生：今回は剰余金があるので、現状の活動を継続しながら、中盤頃までに何か新しい事業を展開してメーカーに依存しない経営体制を構築できるかどうかを考えたい。WCD は学会に依頼状を既に出して承認されているので、従来の規模でやる。昨今、学会運営でもメーカーからお金を集めるのは非常に厳しくなってきているのが現状。ウェビナーの有料化など収益性のある事業も考えてみたい。臨時理事会などで提案させていただきたいと思う。

6. 閉会宣言

19 時 45 分、議長により 2026 年度第 1 回通常理事会の議案審議が終了したことが宣言され、閉会した。

2026 年 4 月 22 日

議事録作成者　議長　　代表理事　　植木　　純　　印

監　　事　　工藤　翔二　　印